

2015年9月号  
日本基督教団 堺教会  
No.440 教会学校

# いすみのひろば



赤ちゃんを抱っこしているお母さんもいます。みんなさんのような子どもたちもたくさんいます。みんなイエスさまを目指してフウフウ言しながら山を登ってきます。イエスさまは、その様子を見られて、弟子のフイリポにたずねました。「この人に達に食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろか。」  
フイリポは、さいふを出して  
「今、全財産はこれだけしかありません。みんなが満腹(まんぱく)するだけのパンは、とても買えません。どうしたらいいでしよう。」と困つてしましました。

これが、イエスさまがくださる命で、  
イエスさまのくださる永遠の命で、  
なくなるよ、終わりだつて思つていい  
りません。イエスさまを信じて、頂  
なくなりません。死んでも死なないし、お  
からもらうことはできないし、お  
きません。だから、イエスさまは、  
られたのです。あなたに死んでも死  
をあげようと手を広げて待つておら  
イエスさまの救いについて、いつも  
いるのです。

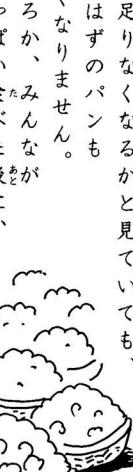
そこで、もう一人の弟子のアンデレが、一人の少年を連れてきました。

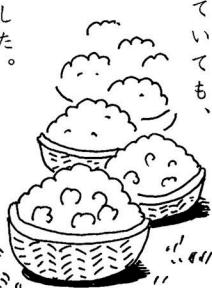
「この子は、自分のお弁当をイエスさまに差し上げたといつてていますが、五つのパンと二匹の魚では、何の役にも立ちませんね。」と言いました。

ところが、イエスさまは、「ありがとう」とそのお弁当を少しうなぎました。草の上にみんなを晩ご飯の時のように座らせました。百人、三百人、五百人、五千人、いえいえ、男の人だけでも五千人いました。

イエスさまは、パンと魚を持って、天の父に食べる前のお祈りをしました。それから、パンをさき、魚をさいて弟子たちに渡し、座つている人達が順番に食べました。

それどころか、みんながさなくなるはずのパンもさなくなつたパンを集めると





(おはなし) 米澤佳世子先生